# 栗原和也 自己紹介

# 簡単な経歴紹介

## 栗原和也 自己紹介



フロントエンドエンジニア

### 栗原 和也

Kurihara Kazuya 1996年2月18日 生まれ 慶應大学総合政策学部卒業

### ● 2017年頃 学生起業を志すも挫折

プログラミング塾のカリキュラム通過率の低さを見て、簡単に Rails を教えららるえる教材を作るも、集客に難があり断念。

2018年~2019年 インターン

アリババでPythonを使った営業資料作成の自動化や、営業会社でのアポインターの仕事を担当。

● 2019年 レイヤーズコンサルティング

電力会社の英語の人事資料作成を担当。結果として、あまりプロジェクトで上手くいかず退職。

2019年~2022年 ニート & 実家のホテル

ニートをするかたわら、様々な企業の製品の改善資料を作ったり、Google を倒したいと思い簡単なプロダクトを作ったりしていた。ホテルでは、フロントスタッフや清掃を担当。

2022年~現在 ジャパニアス

大手ECサイトのフロントエンドの開発を担当(React, TypeScript)。また個人で vercel/Next.js のバグを改修の経験もあり。

# 学生時代

## 栗原和也 自己紹介

- ・起業をしたく、プログラミング(Ruby on Rails)をプログラミング学習塾で 学ぶ
  - 当時のプログラミング塾の教える時間は100時間だったが、それに対してカリキュラム通過率が20%もなかった。
  - ► もっと簡単に要点だけを教えればいいと思い、「Rubyの文法」は前提知識として教えず、Rails の設定方法のみを教えようとする教材を作った。
  - ▶ 100時間かかる勉強時間が40時間になる想定。
  - → 勉強会など開くも、全くの初心者の集客ができず、教える時間 も長くなり教える成功体験がつめず、起業は断念

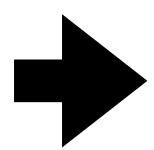
# インターン時代

## 栗原和也 自己紹介

### アリババ



- ・営業のメンバーやインターン生が30分かかって作っていたExcelのレポートがあった
- ・基本的には中国のアリババの管理画面からの転記

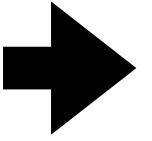


- ・Python のスクレイピングで、5分以内でExcelへの書き込みができるように改善した
- ・ログイン部分だけ手入力・スクレイピングの流儀で 間隔を空けてアクセスするようにした

### ステップハウス



- ・アリババの環境より、成長できる環境を求めてイン ターンを開始
- ・最初は口下手なこともあって、1日70件あたっても1 件もアポイントが取れない状況だった



- ・先輩のアポイントを録音して聞く・テンションを上げるなど自分なりに努力し、平均で1日50件当たって2~3アポを取れるようになった
- ・結果、1500万円の売上に貢献するアポを取った

# レイヤーズコンサルティング

## 栗原和也 自己紹介

- ・学生時代に、起業を諦めた経験があって、経営を学びたいと思って入社
  - ▸ TOEIC 850点を取った実績もあって、電力会社の英語の人事文書を作成するプロジェクトに
  - 英語分野などでバリューを発揮できず、早期退社に

### 英語力不足

- ✓ TOEIC 850点取ってたことで 満足して、あまり契約書などの 書き方の本を読んだりしていな かった
  - 当時はあまり深く学ぶ習慣 をつけていなかった

### 努力不足

- ✓ 人事分野の本も買ったりしたが、あまり読んでいなかった。 ウェブ検索の知識中心ではコンサルの仕事は難しい
  - 好きなことにはのめり込めるという、自己分析が足りていなかった

### 仕事に打ち込めていない

- ✓ コンサル会社に入ったのに、平 気で自分の時間で企業研究の調 べ物などをしていたが、今思う と無駄だった
  - 自分の仕事に対する見立て の甘さがあった
- → 自分がのめり込める仕事をするのがいいと思って今は仕事をしてます

## ニート&ホテル

## 栗原和也 自己紹介

### ニート生活

- 1. Google を倒すための製品の考案
  - 当時の GAFAM で、唯一 UI が 20年間変わって いない Google はおかしいと思った
  - 結果として、あらゆるサイトに「特定のコマンド を入力すると検索ができるモーダルが表示され る」ようなスクリプトを配置すれば、シェアが少 し変わるのでは?と思った
  - express でエディタを自作し、上記の検索できる モーダルを組み込んだ
- 2. 既存製品をよくするアイデアの考案
  - ・GYAO や Cookpad や Wantdly などで新しくど のような製品を作れるかを考案していた(残念なが ら資料は残っていませんが・・・)

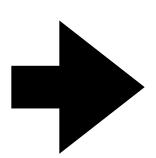
1. 通常のホテル業務

ホテル

- ► IT系で仕事は見つからなかったが、接客経験や営 業経験があったので、一旦ホテルに入り仕事をす ることに
- ホテルのフロントスタッフやたまに人が足りない ときは清掃業務を担当



- ・個人で React を勉強していたので、ホテルのサイ トをReactで作成。バックエンドに Firebase を使 い、DraftJS のエディタで編集できるようにした
- React の自作プロジェクトなどで、驕りっぽいが 自分にプログラミングの才能があると思ったので、 改めてエンジニアを目指す



# ジャパニアス業務内容

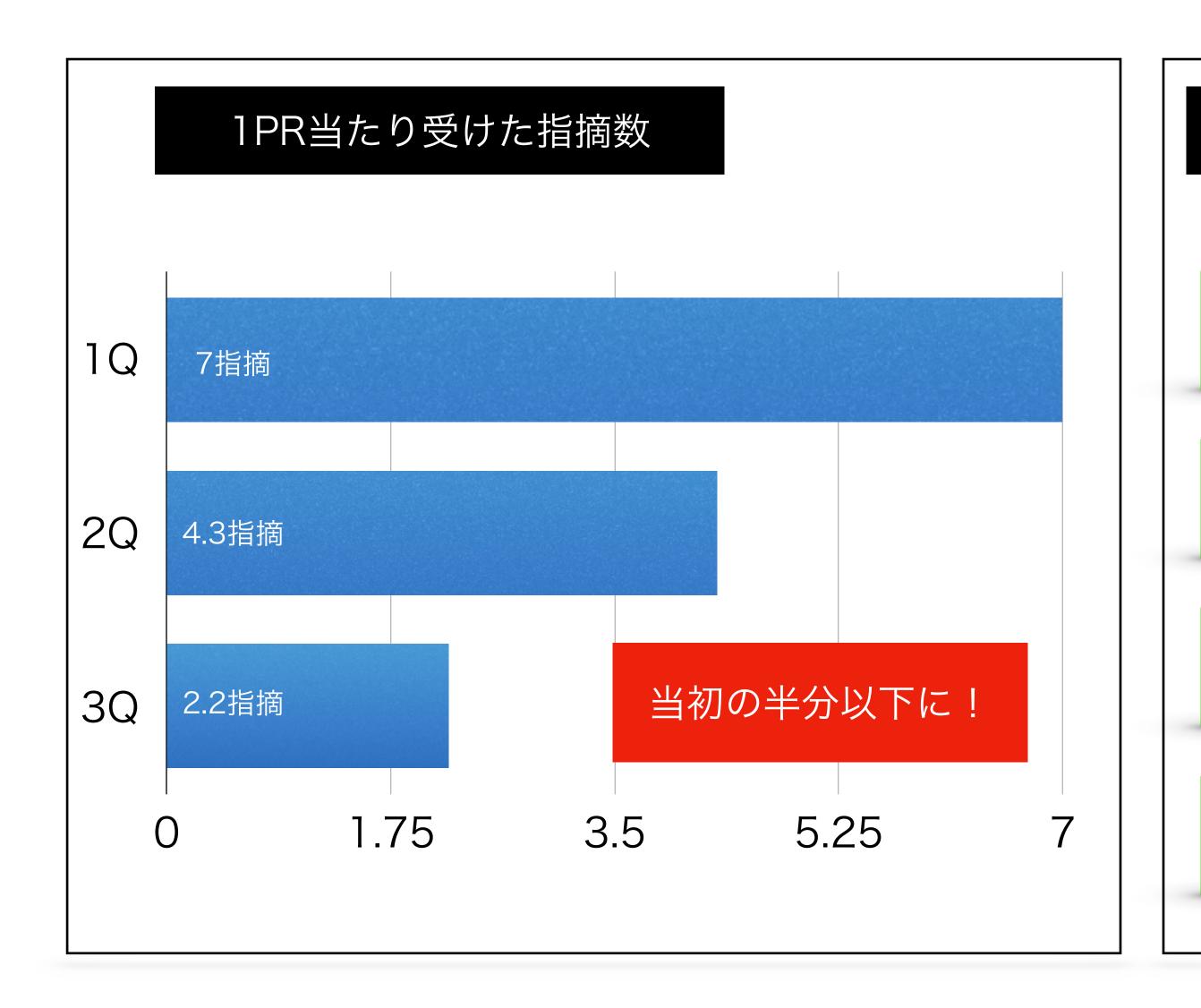
## 栗原和也 自己紹介

業務内容は公開していいか分からないので詳細は書きません。

- ✓ 研修では、PHPUnit を真似た自作ライブラリ作成 と <u>PHP を使ったオセロ</u> ゲーム・オセロAIの作成とそのテストを行なった
- ✓ その後は、大手ECサイトのフロントエンド開発プロジェクトに配属され、 2022年12月から今まで1年ちょっと働いている
  - 使用言語は、TypeScript・React・SCSS

# ジャパニアス身につけたスキル

## 栗原和也 自己紹介



### 開発で身につけた技術

CSS のデザインカ

Flexboxやgrid・隣接セレクタ・BEMなどを全く知らない状態から学んだ

OSS を読み解く力

バグを直すためReactのコードやOSSのコードや開発基盤のコード(Go, Swift)読んだ

中規模のNext.js

永続化層のレポジトリの切り方・storybookを使ったコンポーネント開発・非同期でデータを取得する方法を学んだ

レビューする力

ロジック周りの実装・figmaとのデザインの差分を細か く見るのを中心に、レビューしている

# 個人開発

## 栗原和也 自己紹介

領域 概要 URL など ・Vercel/Next.js の server Actions の リダイレクトのバグ修正 <u>Next.js</u> OSS貢献 ・Nue.js の 正規表現の書き間違いの修正 <u>Nue.js</u> JUnit・PHPUnit・Cのテストライブラリの自作 JUnit · PHPUnit · C 自作 OSS <u>Tanstack</u> · <u>HTMX</u> HTMX・Tanstack Query の自作 AGL(車関係のOSS)のコードリーディング AGL 関係 コードリーディング • Twitter の レコメンド基盤のコードリーディング <u>Lucene</u> Lucene という Elastic Search の基盤のコードリーディング • Webサイトテスト自動化の個人開発(Reactでフロー図を書いて、 Web 個人開発 Lambdaでフロー図をpythonのスクレイピングコードに落とし実行 Qiitaの記事 させる) ・UNIX V6 のコード解説本を2周しました(内容は全く覚えていませ 勉強系 OS 読書 <u>この本</u> ん)

## アピールポイント

## 栗原和也 自己紹介

技術

- ・OSS など大規模コードを読むのを苦にせず、場合によっては本家のコードを真似することができる
  - React-scroll というライブラリを使っているときに、データが多すぎる時にスクロールをしたらページが クラッシュする問題があった。その時は、その React-scroll のコードを読んで、クラッシュしないような 表示を実現できるようなコードを考えて書いた
- ・基本的なデザインができ、figma との差分をデザインチェックできる
- ・大規模コードの OSS に貢献したことがある
- ・読めと言われたら、TypeScript・Javascript 以外でも、Go・C・Java・PHP らへんを読んでコードを書くこ とができる(Swift・Kotlinは読める)

コミュニケーション

- 教える時は、最初のうちは全てを教えても、少しずつヒントを提示して自分で考えてもらうことを重視しています。また、検索しても出てこない社内のみのナレッジは社内ネットワークに残すようにしている
- ・レビュー時は、柔らかい言葉を選んでいるつもり
- ・慣れない作業の場合は、細かい報告やコミュニケーションを心がけている

# 課題

### 栗原和也 自己紹介

### 課題1

OSS に貢献できる打率が低い

- vercel/Next.js は 7つPR送って、ようやく1つマージされる打率。
- ・ バグ修正ですら、この打率では、OSS での機能追加は先が遠そう。

### 課題2

チームをリードする経験が少ない

- 後輩を育成したり他人の相談にのる機会はあるが、チームをリードする経験が少ない。
- ・ 年齢的に、技術1本でなく幅広い経験 をした方がいい気がしている。

### 課題3

プロダクト思考がない

- 昔はあんなにパワポを書いていたのに、今は大規模開発の一部分を企画の方の要望に沿って開発しているだけ
- 製品の成長を語れるエンジニアになり たい

→どれかを身につけるようになりたい

## おまけ

## 栗原和也 自己紹介

- 趣味
  - ✓ 囲碁は好きで、高校の時に神奈川の高校大会で個人団体優勝を、最近は<u>東</u>京都の無差別の大会でベスト6にまでなったことがあります。
  - ✓ OSS の issue を漁ること  $\rightarrow$  issue 切った人の役に立つことができるのが 小さなモチベーション

- ここまで見ていただきありがとうございました!
- ・ github・qiita も見てみてください!